

第124回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第123回火山噴火予知連絡会（平成24年6月26日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成24年6月26日～10月24日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんでした。火口内には依然として溶岩が蓄積しています。桜島、諏訪之瀬島、硫黄島及び択捉焼山で噴火が発生しました。また、三宅島ではやや多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上3,500m、大きな噴石が最大3合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が2回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、やや多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

択捉焼山〔噴火予報〕では、8月に噴火が発生し、海拔約4,000mの高さの噴煙が気象衛星で観測されました。

【本件に関する問い合わせ先】
気象庁 地震火山部 火山課
電話：03-3284-1749

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

- ① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ③ 大雪山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・6月30日夜から7月5日未明にかけて、大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。この現象は高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定されます。8月13日未明にも規模が小さく微弱なものが観測されましたが、それ以降は観測されていません。
 - ・地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。2006年以降、62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動が続いており、しばらくは活動の推移に注意が必要です。
- ⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 - ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。
- ⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 択捉焼山 [噴火予報]
 - ・8月中旬から下旬にかけて噴火活動がありました。8月25日の噴火では、海拔約4,000mの高さの噴煙が気象衛星で観測されました。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・めだけ女岳では、2009年から地熱域の拡大が引き続き認められています。
- ・地震活動や地殻変動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・遠望カメラによる観測結果と現地調査結果で、大穴火口の熱活動は昨年と比較して低下傾向がみられます。また、GPS繰り返し観測では大穴火口を挟む基線で収縮傾向が継続し、火山性地震も減少しており、火山活動に低下傾向が認められます。
- ・大穴火口の噴気は、8月に一時的に高さ200mを越える日があったほかは概ね100m以下で経過しました。2011年11月15日以降、夜間に高感度カメラで明るく見える現象は観測されていません。
- ・7月9日と9月5日に実施した現地調査では、前回(5月14日)の現地調査で確認した大穴火口北西側下部の新たな噴気孔も含め、大穴火口や八幡焼付近の地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。
- ・火山性地震は2012年3月以降、少ない状態が続いています。
- ・8月29日～9月5日に実施した大穴火口付近のGPS繰り返し観測では、前々回(2011年11月)の結果以降、大穴火口を挟む基線で収縮傾向が継続しています。その他の地殻変動観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。

た。

- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では火山ガスに注意が必要です。

⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が時々みられました。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、6月以降の観測で一部の噴気の活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

また、この付近では火山ガスに注意が必要です。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、山頂直下から北麓～北西麓の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでしたが、2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・ その他の観測データで異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
- ・ なお、富士山3合目(山頂の北西約6km)で、2012年2月10日にかすかな湯気が確認されましたが、4月、5月及び7月の現地調査では湯気は認められず、硫黄臭や温度の異常も認められませんでした。

⑫ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・ GPSによる地殻変動観測では、2011年10月から伸びがみられましたが、2012年の初め頃から、わずかに縮みの傾向がみられます。また、体積ひずみ計による地殻変動観測では、2011年11月中頃から停滞傾向がみられましたが、2012年1月に入り縮みの傾向がみられます。
- ・ 他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑮ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・2010年7月21日の噴火以降、噴火は発生していません。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、2012年6月以降は1日あたり700トン~1,000トンで、長期的には緩やかな減少傾向にあるものの、やや多量の火山ガス放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑱ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・8月26日に島の南東沖1,300m付近で変色水が認められましたが、9月21日の観測では変色水は認められませんでした。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑳ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・島西部の旧火口(通称:ミリオンダラーホール)で、2012年2月上旬、3月上旬及び4月上旬に続き、7月上旬にもごく小規模な水蒸気爆発が発生しました。
- ・8月中旬に火山性微動がやや多く発生しましたが、それ以外の期間は地震活動や火山性微動の発生は共に低調でした。
- ・GPSによる地殻変動観測では、4月27~28日に通常より大きな島全体の隆起を観測し、その後は沈降を観測しましたが、その傾向は鈍化し、現在はほぼ停滞しています。島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

21 福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・孤立型微動及び火山性地震はやや少ない状態で経過していますが、2012年2月頃からゆるやかな増加傾向が続き、孤立型微動及び火山性地震は1時間未満の短い時間に20~30回程度集中して発生しました。この傾向は9月上旬ころまで見られました。なお、火山性地震の震源は、主に中岳第一火口直下のごく浅いところに分布しています。また、継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。
- ・湯だまり量は6月中旬には3割まで減少しましたが、その後増加傾向が続き、9月には全面湯だまりとなりました。湯だまりの表面温度は湯だまりの増加に伴いやや低下しました。噴湯現象は、8月上旬まで湯だまり中央部付近で確認されました。また、土砂噴出は確認されませんでした。
- ・南側火口壁の最高温度は250℃前後で推移し、温度分布に特段の変化は認められませんでした。6月及び9月に実施した夜間観測では、南側火口壁の一部に赤熱現象を確認しましたが、赤熱域に特段の変化は認められませんでした。9月23~26日にかけて高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。
- ・噴煙活動は低調で、白色の噴煙が火口縁上概ね200mで経過しました。
- ・7月及び9月に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり400~700トンと、4~5月の500~800トンと比較して特段の変化は認められませんでした。
- ・GPSによる地殻変動観測では、2012年7月頃から阿蘇山周辺でわずかな伸びがみられます。
- ・以上のように中岳第一火口の火山活動は、9月上旬ころまで孤立型微動や火山性地震が増加するなど、わずかながらも高まる傾向が見られましたが、9月下旬以降、孤立型微動や火山性地震は減少しており、火山活動はやや低下しています。また、今のところ火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡(中岳第一火口から西南西約6km)の一部の噴気孔では大雨による土砂崩れのため土砂が流入し、新たな噴気孔が形成されるなど地形的な変化が認められました。また、全体的に噴気の勢いはやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

④ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)] ←平成24年6月26日に火口周辺警報を発表し、警報事項を切り替え(噴火警戒レベル3(入山規制)は継続)しました。

- ・2011年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。
- ・GPS観測結果では、新燃岳周辺の地盤の伸びの傾向は、2011年12月頃から鈍化し、2012年1月以降、ほぼ停滞した状態が続いていましたが、6月頃からはわずかなが

らも縮みの傾向がみられました。以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いています。

- ・ 傾斜計では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。
- ・ 2012年5月以降、火山性地震は少ない状態で経過していましたが、8月30日に新燃岳南西1km付近で一時的に地震が増加した後、それまでよりわずかに多い状態になっています。
- ・ 噴煙活動は静穏で、白色の噴煙が火口縁上0～200mの高さで経過しました。
- ・ 1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、7月以降、数10トン未満で検出限界に近い状態で経過しています。
- ・ 9月14日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て上空からの調査を実施しました。これによると、火口内に蓄積された溶岩の北側から東側及び南側に複数の噴気孔がみられ、火口内にとどまる程度のごく少量の白色の噴煙が主に北側と東側から上がっていました。また、溶岩上には複数の水たまりを確認しました。前回（5月18日）の観測と比較して、火口内に蓄積された溶岩の形状や火口内の噴気の状態に変化は認められませんでした。赤外熱映像装置による観測では、噴気が見られる部分や火口内に蓄積された溶岩の縁辺部（特に南側）が比較的高温で、前回と比較して変化は認められませんでした。
- ・ 以上のように、新燃岳の火山活動は低調に経過しています。しかしながら新燃岳の火口には多量の溶岩が溜まっており、新燃岳直下の火山性地震の活動が続いていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。また、今後、深部からのマグマ供給が再開し、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、昨年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火の規模に匹敵または上回る新たな噴火活動の可能性はあります。
- ・ 新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥石流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- ・ 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・ 爆発的噴火の発生回数は、6月～10月15日までで発生頻度がやや減少したものの220回と多い状態でした。大きな噴石が3合目まで達する爆発的噴火は4回発生しました。6月6日と10月7日には、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が発生しました。
- ・ 南岳山頂火口では、7月24日に爆発的噴火が発生しました。
- ・ 南岳山頂火口で夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を6月上旬に観測し、昭和火口で夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。
- ・ 噴火により放出された火山灰の総噴出量は、6～9月までで約190万トンで、多い状態でした。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、1日あたり1,800～5,200トンと多い状態が継続しています。
- ・ 島内の傾斜計及びGPSでは、2月頃から山体の隆起・膨張の傾向が停滞していました。

が、8月頃には沈降・収縮しました。火山灰の放出量と地殻変動量から導いたマグマの供給量は、2012年7月頃からやや減少しています。

- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による長期的な変化が引き続き観測されています。
- ・以上のように、桜島では依然として活発な状態が継続しています。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要です。また、降雨時には土石流に注意が必要です。

⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳山頂火口の噴煙活動は、2005年の噴火活動終了後も2009年頃まで活発な状態が続いていましたが、2009年中頃以降はやや低下した状態で経過しています。
- ・地震活動は、2010年末以降、低調な状態で経過しています。
- ・噴煙の高さは火口縁上概ね300m以下（最高高度は800m）で経過しました。
- ・7月に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり500トンと、2011年11月の800トンと比較して特段の変化は認められませんでした。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと考えられますが、やや多量の火山ガスの放出が続いていることから、山頂火口周辺では火山ガスへの注意が必要です。

⑧ 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- ・火山性地震及び火山性微動は少なく、噴煙の高さは火口縁上概ね100m（最高高度は300m）で火山活動は低調に経過しました。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意が必要です。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過しています。
- ・御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。ごく小規模な噴火は発生しており、長期にわたり活発な噴火活動が続いています。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成24年10月24日現在、29火山に導入しています。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	秋田焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)	
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部・伊豆・小笠原	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	神津島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	青ヶ島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報 (レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報 (レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2011年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2011年3月22日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年6月26日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替
	霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

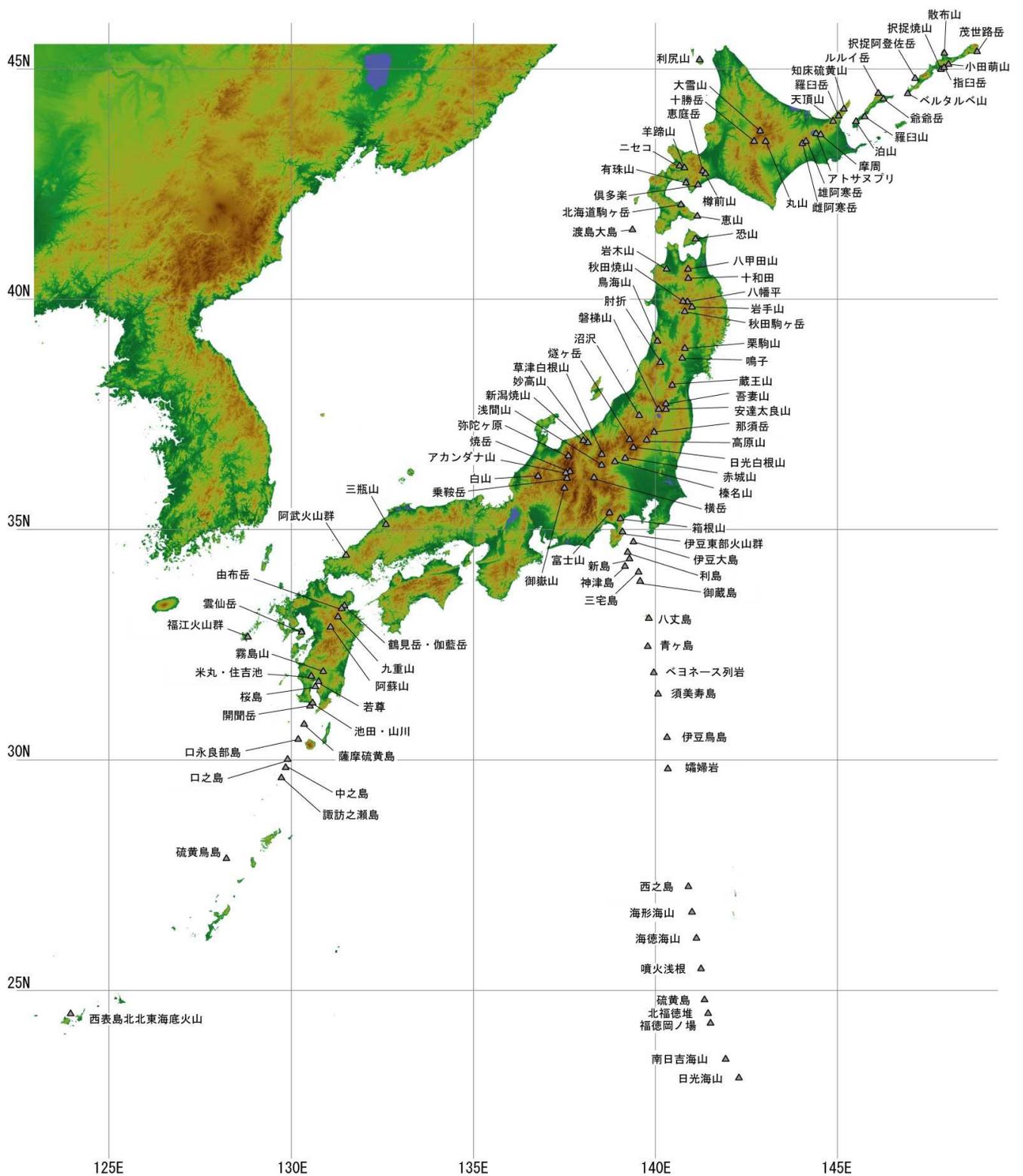


図 全国の活火山分布